

自立活動、パワーアップタイム、チャレンジタイム

田野分校では、児童生徒たちの自分らしさを大切にしながら、生きる力や生活する力を育む教育の一環として、自立活動の時間の指導、チャレンジタイム、パワーアップタイムなどの時間を設定し、各学部をととした系統的な教育課程を編成しています。

自分らしさを大切に、生きる力・生活する力

パワーアップタイム(中学部、高等部/総合的な学習の時間)

チャレンジタイム(小学部3～6年生/自立活動)

自立活動(小学部1、2年生)

自立活動

田野分校では自立活動を週時程表の中に「時間における指導」として位置づけ、一人一人の実態に応じた適切な指導を展開しています。

その理由として、自閉症を併せ有する児童生徒の増加や、重複障害のため発達に偏りがある場合、自立活動の時間を特に設けて指導を行った方が効果的であるといわれており、知的障害に随伴して起こる様々な状態への対応が必要な場合があります。

特に、自閉症を併せ有する児童生徒については、学習指導要領の自立活動の新たな区分として示された「人間関係の形成」に関わった指導を行っています。

チャレンジタイム

自立活動で学び身に付けた力を、他の異なる環境・場面において般化・応用していくことが生活する力につながります。

特に自閉症や自閉的な傾向のある児童生徒にとっては、こうした般化・応用の学習はとても大切です。知識として学んだ事柄を実際の場において、さまざまな環境や人との間で実現することができる力に育てていくことが般化の学習です。

「チャレンジタイム」では、こうした観点に基づき、自立活動で学んだ事柄を具体的な活動場面とおして、般化・応用し、生活に生かすことができる力に結びつける学習を行っています。

パワーアップタイム

青年期にさしかかる中学部以降においては、将来の職業生活や社会生活を円滑に送るためのさまざまな力の育成を目指して、「パワーアップタイム」を設定しました。「パワーアップタイム」では、現在の自分の生き方に関するスキルをはじめ、将来の職業生活や社会生活に関するさまざまなスキルを学び、生きる力や生活する力につながる実地的で具体的な学習を行っています。

